

4.

特別招聘教授 プロジェクト

2021 年度特別招聘教授
プロジェクト概要

▶ 2021 年度 特別招聘教授プロジェクト概要

「特別招聘教授プロジェクト」の主な目的は、グローバルな視野から本学のジェンダーに関する教育研究活動の一層の推進及び活性化を図ることである。海外の著名な研究者を招聘して、高水準の研究プロジェクトの実施、国際シンポジウムの企画・登壇を含む国際的な研究ネットワークの構築、大学院生を対象としたジェンダー研究教育プログラムに貢献していただき、「国際的研究拠点」としての研究所の総合力を向上させる重要な事業である。

2021 年度も、新型コロナウイルス感染症対策としての国際移動の制限の影響により本研究所への特別招聘教授の招聘はかなわなかった。大学教員の海外招聘は「特段の事情」による入国が認められた時期もあったが、入国許可や検疫の条件が感染状況次第で急に変更になる可能性があるという条件下での来日交渉は困難を極めた。新規の招聘はなかったものの、過年度に特別招聘教授の任についた海外の研究者との研究交流は続けられている。とりわけ、2018～2019 年度に招聘したジャン・バーズレイ氏（ノースカロライナ大学チャペルヒル校名誉教授）には、『ジェンダー研究』の編集委員を務めていただいているほか、INTPART プロジェクトの書籍刊行で論文のレビューをお引き受けいただくなど、継続的に研究所事業にご貢献いただいている。このような長期的な交流関係が築かれることも、特別招聘教授プロジェクトの成果の一つである。

本プロジェクトは、海外の第一線の研究者との教育・研究の現場での直接交流を実現させることで、本学の研究・教育の現場の活性化を図ってきた。そして、本学の招聘に応じて特別招聘教授の任についた研究者たちは、熱意をもってその職務に当たり、多大な貢献をしてくださっている。そのご貢献の内容とプロジェクト成果を研究所のウェブサイトで俯瞰できるよう、特別招聘教授プロジェクトの特設サイト（日本語版・英語版）の構築作業が進められている。

